

令和4年度 長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

名 称	SSRⅡ キャリアデザインツアー
期 日	令和4年10月6日（木）～ 7日（金）2日間
会 場	東北大学、宮城県仙台市（閉上の記憶）
対 象	普通科2年生（理系）
目 的	<ul style="list-style-type: none"> • 大学の模擬講義などを通じ、自分の興味・関心がどのような学部・学科とつながっているかを知り、将来自らの意志で進路選択できるよう参考にする。 • 被災地をまわり、ガイドの話を聞くことで、現在、日本が抱える問題に直視し、大学で学んでいくことを将来どのように社会に貢献していくべきかを考える。
内 容	<ul style="list-style-type: none"> • 東北大学で模擬講義体験 • 東北大学の施設見学 • 本校卒業生との懇談会 • 被災地研修



東北大学での模擬講義の様子



卒業生との懇談会の様子



被災地研修の様子



「閉上の記憶」にて震災の話を聞く

感想など	<p>【東北大学での模擬講義などを体験して】</p> <ul style="list-style-type: none">・東北大学は「世の中の役に立つこと」を大切にしていることが分かった。留学支援も充実しており、それを活かせるかどうかも含めて、自主的に動かなければいけないことが分かった。今から実践したい。・災害に対する研究を重ねることで、震災に強い地域づくり、国づくりができる、その中心となるのが東北大学である、という自負を持って、研修を進めているということを聞いて、ここに来たいと思えた。 <p>【先輩との座談会を通して】</p> <ul style="list-style-type: none">・今までの勉強に取り組む姿勢はその場をしのぐためだけのものだったので、日頃からしっかり取り組もうというきっかけになった。・先輩と比べて圧倒的に足りないのは、将来に対する意識と、勉強量だった。東北大学は意識の高い学生が集まると聞いて、このようなレベルの大学に進学したいと強く思うようになった。 <p>【被災地研修を体験して】</p> <ul style="list-style-type: none">・震災にあい、親族、友人を失っても、前に向かって、復興している人間の強さを知った。私たちは次にいつ同じことが起こっても被害を最小限に食い止められるように勉強しなければならないと思えた。・震災に対する日頃からの準備は必要であるということが分かった。
------	---